

「がんばろう、なとり」 No.9

東日本大震災 名取市支援活動報告

2011.4.24

「第1班」から「第2班」へ バトンタッチ

22日 ~ 第2班、いざ名取市へ ~

4月22日(金)の朝6時、第1班と同じ行程で名取市をめざし石狩を出発しました。

道中は、あいにくの雨模様。東北自動車道を南下して、宮城県に入ったあたりから道路事情は一変。道路の一部が盛り上がり、路肩にはコーンが置かれ陥没している箇所も数多くありました。この地震の爪痕をあらためて感じながら、午後9時20分に名取市図書館に到着しました。

菅井名取市図書館長と柴崎司書、百井石狩市民図書館長の3名が夜遅くにもかかわらず、第2班の我々4名を出迎えてくれました。到着後、百井館長と情報交換をして1日目を終えようとしたところ・・・就寝直前に震度3の揺れが。寝床についた職員も飛び起きましたが、少しして揺れは収まりました。今も頻繁に発生する余震への不安な気持ちと明日から現地で活動するのだという思いを胸に、眠りにつきました。



函館 青森間をフェリーで移動
「一刻も早い復興をお祈り申し上げます」
の横幕が貼られていました

23日 ~ 各地の被災状況を確認 ~

この日は、第1班の中で24日(日)までひとり滞在する百井館長から引き継ぎを受けながら、名取市内を含め各地の施設を視察しました。まずは名取市図書館へ。職員の方と顔を合わせ、館内を見て歩きました。第1班の作業によって、本館や離れの倉庫は格段にきれいになっていましたが、石狩で見て、聞いていた報告のようすと、自分達の目を見た現地の印象はやはり違いました。建物に入った亀裂の数々、床に剥がれ落ちた壁、書架から落ちたまま整理されていない散乱した多数の本。書架に戻す作業は、第2班も引き続き行なう予定です。



第2班のメンバーも笑顔で
顔合わせ

次に向かったのは、市文化会館。「こどもの広場」に置かれていたブックボックスや昔遊びの道具を確認。子ども達が笑顔で手にしている姿を見ると嬉しくなりました。ここでは多くの方が避難されています。「底冷え」のする床の冷たさに、避難所の過酷さの一面を見た感じがしました。

市役所庁舎、隣にある総合体育館を視察した後、百井館長の運転で閉上地区を走りました。雨が降る中、車の中から見るその光景に言葉を失ってしまうのは必然でした。自衛隊の方の復旧作業が黙々と続けられていました。

午後からは、仙台市図書館で行なっている臨時開館のようす(移動図書館車は雨天中止) 宮城県図書館を視察しました。

夜には、百井館長から多くの情報を得て、明日から始まる活動の内容を確認し、2日目の活動を終わりました。



仙台市図書館の方と情報交換



全体ミーティングのようす

前日とは打って変わって日差しがまぶしいほどの快晴。ぽかぽか陽気の中、第2班の活動が本格的に始動しました。名取市図書館と石狩市民図書館の職員全体ミーティングでスタートです。

第2班の主な活動は、名取市図書館の臨時開館に向けた準備。そのためには短期間で効率的な作業が求められます。この日は3つのグループに分かれて作業を行ないました。

- 臨時開館に向けた本の選書
- 閑上（ゆりあげ）小学校、中学校への貸出本の選書
- 本館2階の散乱本の書架棚戻し



今後のスケジュールを打合せする
(左)柴崎司書 (右)丹羽副館長



書架から児童書を選書しています
第1班の活動が起きていますね！



後日、閑上小学校と中学校の学級ごとに貸出されます



第2班で持ち込んだブックボックス

付箋をつけ、本を横に倒しながら、選書をして後で抜き取ります
臨時開館に向けた準備です



床に落ちた本を書架に戻します

編集後記

第1班から第2班へバトンタッチしました。このバトンをしっかり受け継ぎたいと思います。到着3日目にして本格的に作業が始まったわけですが、第2班に課せられた主な活動は、臨時開館に向けた作業が中心となります。毎日、「図書館は開館しているのかな？」という利用者の方を実に多く見かけます。その方達のためにも、名取市図書館の職員さんやボランティアの方々と協力して、一日も早い臨時開館を実現できるよう、力を出し切って石狩に帰りたいと思います。皆さんの笑顔が戻る図書館に。4月末までの経過を報告していきます。(K)

「がんばろう、なとり」 No.10

東日本大震災 名取市支援活動報告

2011.4.25

今日は不安定な天気、朝は快晴、昼から雷雨、夕方は晴れと、目まぐるしく変化した1日でした。右の写真は、私たちが泊まっている宿のすぐ目の前の増田川。この川にも車や漂流物が押し寄せ、今現在も行方不明者の捜索作業が行なわれており、先日もご遺体が発見されたそうです…。流木やタイヤ、家財道具の一部などは見受けられますが、こんなにも身近なところで発見されるとは…。亡くなられた方のご冥福をお祈りいたします。



「2階書庫の本を移動！危険の伴うバケツリレー作業」

今日は、ボランティアの方3名が駆け付けてくれました。名取市図書館の職員と一緒に1階の児童書整理を行ない、段ボールに箱詰めしていました。



地元の方に加え、仙台市からも来られたようです



分類ごとに箱詰めしています

午後からは、地震によって傾いた2階の書庫にある書架修理に、書架メーカーのキハラ(株)の方が来館しました。すぐさま作業に取りかかりたいところですが、写真のように足場もない状況のうえ、書架は斜めに傾いており、本が支えとなってその形状を保っている危険な状況。いずれにしても、作業をするにはまず本を出さなければならなくなりました。

「19人によるバケツリレー」のもと、隣にある部屋に移しました。その数、約11,500冊！続けて、別の部屋では2階から1階へ同じ作業を行ないました。この作業は明日も続きます。



本を抜くと倒壊の危険性がある作業でした



全員の力が結集！19人によるバケツリレーはお見事！



あっという間に本で埋め尽くされました
2時間で作業終了！お疲れさまでした

編集後記

作業中、天地を切り裂くような雷鳴がしばしば轟いていました。地震と天候は不思議な繋がりがあるようですが、余震が続くなか、やはり不安を掻き立てられます…(M)



別の書庫での作業風景
2階から1階へのバケツリレー

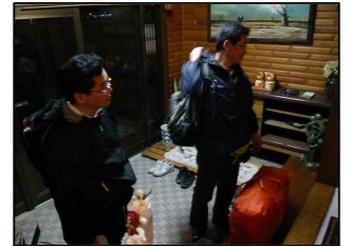
「がんばろう、なとり」 No.11

東日本大震災 名取市支援活動報告

2011.4.26

昨夜7時ごろ、北広島市から新谷図書館長と丸毛主査の2名が到着。26日(火)より、私たち第2班と一緒に名取市図書館の一日も早い臨時開館をめざして、一緒に行動します。たいへん心強いメンバーが加わり、この先の作業もよりいっそう進むことでしょう。

余談になりますが、この日の就寝時にも地震がありました。石狩と北広島、到着した夜の同じ時間帯に地震があるなんて、偶然なのでしょうが...



「 関上中学校に名取市図書館の本が届く 」

～ 石狩市の「ブックンボックス」ケースで団体貸出開始 ～

以前に、名取市図書館の取組である学校への支援として、団体貸出(学級単位で40冊程度のセットをつくる)を行なうとお伝えしましたが、本日、第2班が持参したケースに、名取市図書館の本を入れた5学級分を関上中学校にお届けしました。関上中の校長先生は、「このような方法で貸出をしていただけて嬉しい」とおっしゃっていました。各学級に置かれ、このケースに入った本が貸出されることとなりますので、生徒の皆さんがより身近に読書を楽しめる環境となれば嬉しい限りです。



ブックンボックスには名取市図書館の司書の方が選んだおすすめ本が満載です



石狩市の三国生涯学習部長より佐竹所長へ手渡されました

「 市内保育所にはおえかき帳が届けられました 」

～ 石狩市に寄せられた支援物資を提供 ～

午前中に名取市役所を訪問し、佐々木市長をはじめ、太田副市長、丸山教育長にお会いしました。その後、市役所1階にいらっしゃった関上保育所長に石狩に寄せられた支援物資である「おえかき帳」720冊をお渡ししました。市内保育所のこども達に配布するとのこと。こども達の笑顔を想像すると、こちらも嬉しくなります。

「 臨時開館に向け 労働力を結集 本日も続く肉体労働 」

昨日、途中で終わっていた2階書庫の本を1階へおろす作業は、午前中に全て終了しました。



名取市図書館の職員とキハラ(株)の皆さん



一緒に作業して・・・
図書館入口の廊下へ
運搬完了!



今日は、名取市図書館職員、キハラ（株）北広島市職員と名取市災害ボランティア、私たち第2班、それぞれが「今できること」として役割分担する中で作業を行ないました。今日も肉体労働中心となりましたが、臨時開館に向けてまた一歩進んだ作業ができ、心地よい疲れの中終了しました。



キハラ（株）による書架の撤去作業
すっかりきれいになりました



名取市災害ボランティアは6名集結！若さ溢れる作業スピードで瞬く間に梱包作業が終了！



梱包作業は大変ですが、北広島市職員の軽快なトークに、皆さんの笑顔も見られます



2階の書庫から落ちた文庫本や百科事典などあらゆる種類の本



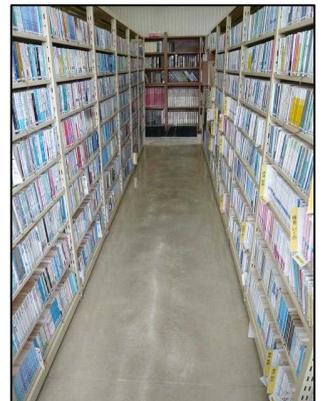
第2班の石狩メンバーが分類別に整理しました



図書館の玄関入口に、利用者の皆さんへお知らせする「臨時開館へ向けて準備中」ポスターを掲示しました。

毎日のようにお越しになる利用者の方に、今、名取市図書館がどのようなことをしているのか、少しでも伝えられたらと思い作成しました。

また、名取市のホームページには作業の様子もあわせて掲載しています。少しでも多くの情報を利用者の皆さんへ発信しているところです。確実に一歩ずつ、臨時開館へ向けて進んでいます！



名取市災害ボランティアも一緒に棚入れ作業をしてとてもきれいになりました

編集後記

あの本の海だった図書館が、本当にきれいになりました。危険だった倒れた書架は撤去し、残った書架は補強され、作業の安全性も高まりました。キハラ（株）の皆さんに感謝。作業が飛躍的に進むのに比例し、終わった後の疲労も・・・夜は熟睡できそうです。
アナログ人間の私は、早起きして手紙を書き、散歩をしながら投函しています。（N）

「みんなの心をひとつに 5/10 臨時開館が決定！！」

連日、市民の皆さまが一日も早く名取市図書館を利用できるようにという思いを持って、実に多くの人たちが身体を使う作業をしています。本は意外に重いということをよく耳にしますが、数冊持ってみると、ずっしりと体感じます。ここ数日の肉体労働は、私たちの腕・肩・腰・足に心地よい筋肉痛を与えてくれています……。そのような中、ついに朗報が舞い込んできました。「5月10日(火)10時より、臨時開館決定」と！目標が決まり、今後の作業にも力が入りそうです。

「離れの倉庫から本を移動 30人でバケツリレー」

これまでお伝えしているように、棚から落ちた本を書架に戻したり、本を選ぶ作業をしたり、これらの作業は臨時開館に向けて行なってきたものです。では、いったいどのようにして臨時開館するのか？と言いますと、図書館の敷地内で自動車図書館を活用し、また、建物および書架の被害が無かった離れの倉庫を活用するものです。



今日は、第1班で整理した離れの倉庫から、痛みの激しい本や古い本を全て敷地内に移動しました。方法はもちろん「バケツリレー」。名取市災害ボランティア20人の皆さんにもご協力をいただいて、総勢30人で行ないました。悪戦苦闘することもしばしばありましたが、3時間ほどで外に出すことができました。人海戦術の賜物です。携わった皆さん、長丁場お疲れさまでした。



臨時開館で活用する離れの倉庫
1階にある本を全て出しました



本を介した「人と人のリレー」
圧巻でした



(写真右) 平積みされた本は
ブルーシートに包んで保管



編集後記

(写真右：北広島市職員)
2階にある全集類を梱包作業中
全集類は1冊1冊が重たい！

こんな作業も…

(写真左)
図書館の窓を使ってお知らせ
「しばらくお待ちください
臨時開館へ向けて準備中！」



名取に来てから早6日。食事こそ三食毎食あたるものの2日に1回の銭湯、そして畳の上で寝られるものの寝袋での睡眠。避難所生活の被災者の皆さんのことを考えると驚沢なことは十分分かっているつもりなのですが、もうそろそろ「布団」が恋しい今日この頃です。(A)

「がんばろう、なとり」 No.13

東日本大震災 名取市支援活動報告

2011.4.28

「連日のボランティア協力 作業スピードあがる」

本日も肉体労働中心の作業が続く一日。連日、ボランティアの方の協力を得ながら作業をしていますが、今日は栃木県鹿沼市に工場がある「京浜精密工業(株)」の社員 19 人が駆けつけてくれました。社員の中に名取市の閑上(ゆりあげ)地区出身の方がおり、地元の力になりたいとの思いが、今回の支援活動につながったそうです。



マイクロバスで駆け付けた社員の皆さん



作業内容に耳を傾ける社員の皆さん



「災害支援」ステッカーを貼ったトラックも



休憩時間中に快く撮影にも応じてくださいました
爽やかな笑顔が印象的でした

「石狩市の出身です」その声に振り向く私たち。京浜精密工業(株)入社11年目、牧野 創(はじめ)さんは親船東出身の34才。作業開始前に私たちに声をかけてくださり、場の雰囲気が一気に和やかになりました。

ここ名取市で、地元石狩の方にお会いできるなんて、ましてや一緒に作業ができるなんて思いもしませんでした。それぞれの立場で支援活動に携われたことに喜びを感じました。

ちなみに、牧野さんのお父さんは、石狩で町内会長としてご活躍中とのこと。息子さんは、一生懸命作業に励んでいました！

京浜精密工業(株)皆さんのチームワークは抜群でした。分担した作業は、現場を指揮したこちらの予想をはるかに上回るスピード。おかげさまで、予定していた以上に作業が進みました。あらためて、感謝申し上げます。社員の皆さん、どうもありがとうございました！



北広島市職員と一緒に作業する若手選抜10名の社員の皆さん
そのスピードには驚くばかり



本館から貸出用の本を奥にある
離れの倉庫へ運びました



瓦礫の撤去、清掃作業も実施

「貸出用の本がズラリ 離れの倉庫が生まれ変わる」

この数日間、ボランティアの方の協力をいただきながら、離れの倉庫を片づけて、貸出用の本を新たに並べることができ、いよいよこの離れの倉庫に「本の命」が吹き込まれてきました。

少々ほこりのあった書架も床もきれいに掃除して、利用者の皆さんをお迎えできる環境が整っています。もう少しで、みんなが笑顔になれる。5月10日(火)が待ち遠しいです。



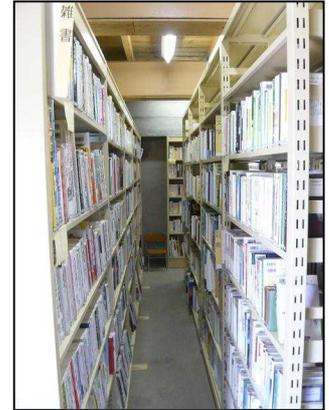
離れの倉庫の書架のようす
昨日は掃除をして終了



本日の作業後



貸出用の本がズラリと並びます
書架も本も嬉しそう



40冊ほどの本が入ったケースを
1階から3階まで運びました



閉上中学校と同じように3階の
踊り場を利用して開設している
図書室

「閉上小学校に名取市図書館の本が届く」

～ 石狩市の「ブックンボックス」ケース運搬終了 ～

4月26日(火)にお渡しした閉上中学校に続き、この日閉上小学校にも名取市図書館の本を入れたケース10学級分をお渡ししてきました。閉上小の教頭先生と司書の方は、ともに喜びの表情を浮かべていました。

今後は、ケースごとに一定期間で各学級を循環し、長期休みの間に新たな本と入れ替えをして活用されます。石狩市で行なっている貸出方法が、名取市でもいよいよ始まります。



編集後記

閉上保育所の佐竹所長に震災当日の様子を伺う機会がありました。保育所は全壊するも、職員の迅速な避難誘導により園児全員が無事でした。この背景には、避難訓練の際に周辺の避難所をひとつずつ確認し、その経路に至るまで詳細に調べていた準備がありました。

日頃から、実際に足を運んで状況を想定しながら自分の目で確かめる。この姿勢ですね。「預かった命は、保護者の方にそのままお返しする」その言葉をずっと忘れません。(S)

「ボランティアの魂こそ復旧への底力」

4月11日から始まった石狩市の支援も、29日が実質作業の最終日。5月10日の臨時開館に向け、なんとしても一定の段階まで漕ぎ着けなければなりません。石狩、北広島、そして名取市の即席混成チームも、今ではすっかり意気もびったりしてきました。ただ、図書整理はどうしても人海戦術に頼るしかありません。この日も13人ものボランティアの方が応援に来てくれました。既に顔なじみとなるほど、2度3度とボランティアに来て頂いている方もいらっしゃいます。

名取市では、これまで読み聞かせ以外での図書館支援ボランティアはなかったとのことで、司書の方はこれを機に、市民協働にチャレンジしたいと目を輝かせていました。



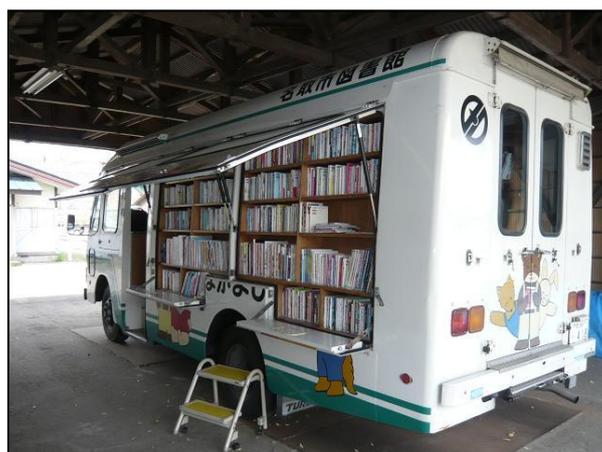
■2階の会議室から1階へ本を運びました



■2階から1階への運搬作業
重労働です



■2階から1階への運搬作業
重労働です



■移動図書館車を活用した
貸出も5月10日から

作業は混成チームのチームワーク、復旧に向けた市民ボランティアの熱意によって、予想以上のスピードで2階の図書全てを梱包のうえ階下への移動を完了しました。作業を終え、名取市司書の柴崎さんが挨拶の中で、5月10日の臨時開館に相当近づいたことを告げると、ボランティアの中から感嘆の声が上がりました。そう、この市民の熱い想いと行動が復旧の原動力なのだと、改めて感じ入りました。

「がんばろう、なとり」そして「ありがとう、なとり」

本日 30 日はいよいよ帰路に経ちます。長きに渡り、宿泊先と私達の健康を考えておいしく栄養バランスの取れた食事を提供していただいた「いろはや」の佐竹夫妻に感謝のお礼と別れの挨拶を告げた後、名取市図書館に最後の挨拶に出向きました。

なんと、そこには、名取市の丸山教育長と佐藤生涯学習課長もいらっしやいました。私達の帰還するにあたり、忙しい中、わざわざ時間を割いてお待ちなられていたとのこと。ここでも感激のご挨拶となりました。



名取市図書館 石狩市民図書館 北広島市図書館 職員集合写真

思えば、名取市に来て以来、様々な方の思いやりに支えられた活動でした。先乗りした百井石狩市民図書館長をはじめ、第1班の方々がまず人との繋がりを重視し、築き上げてくれたことの功績が大ですが、「名取の人は人情深い」とおっしゃった閑上(ゆりあげ)保育所長の佐竹悦子さんの言葉が本当にそのとおりに思うほど、人情に絆された活動期間でした。

ハマボウフウの会の大橋さんは、閑上にあるご自宅が被災されたにもかかわらず、明るく元気に我々を励まして頂きました。寿司金の加藤さんにも暖かいお気持ちを賜りました。そして名取市図書館の皆さんには言い表せないほどお世話になりました。菅井図書館長には、避難所勤務と掛け持ちのなか私達の我儘までお聞き頂き、誠にありがとうございました。北広島市から駆けつけてくれた新谷図書館長、丸毛主査。大変頼もしく一緒にチームを組めたことは喜びに堪えません。

最後にボランティアをはじめ応援いただいた名取市市民の皆さん。「がんばろう なとり」で現地入りした我々ですが、今は溢れかえる「ありがとう なとり」の気持ちでいっぱいです。(完)



■スタッフ全員が笑顔になりました
がんばろう、なとり！



■「絆」も深まった職員間の交流
ありがとう、なとり！

「がんばろう、なとり」 - 特別号 -

名取市図書館のその後

2011.5.11

～ 名取市図書館から、うれしいニュース ～

「5.10、臨時開館スタートしました！」

名取市図書館の職員の皆さんを始め、ボランティアの方々が力を合わせ、何とか図書館を開館するために、準備を進めていらっしゃいました。

そして、昨日、5月10日(火)の午前10時、臨時開館がスタート。

待ち侘びていた多くの市民が訪れ、大賑わいだった！！とのニュースが届きました。

「おかげさまで開館しました」 名取市図書館長からのメッセージ

この度の震災で、いち早く名取市図書館へのご支援をいただき深く感謝いたします。

当図書館は、津波の被害はなかったものの、建物も古く、多大な被害を受け、どう手を付けたらよいか、また、再開などとても考えられない状況で、今後の対応に苦慮していたところでした。

そのような状況の中、石狩市から支援の相談があり、大変うれしく思いお受けいたしました。支援内容はこれまでの「がんばろう、なとり」(石狩市が作成の名取市支援活動報告)で紹介いただいたとおり、当図書館ばかりでなく、各避難所、学校、保育所にまで支援をいただくという大変手厚いものでした。

その手助けがあって、おかげ様で5/10(火)に開館することができました。開館期間や時間、内容等は限定しておりますが、今できることから一步步進めていきたいと思っております。

今回の支援、応援いただいた石狩市の皆様に心より感謝申し上げます。

また、これをきっかけに、これからも交流をしていければと願っております。

【4時間だけの開館・・・でも、大きな一歩】

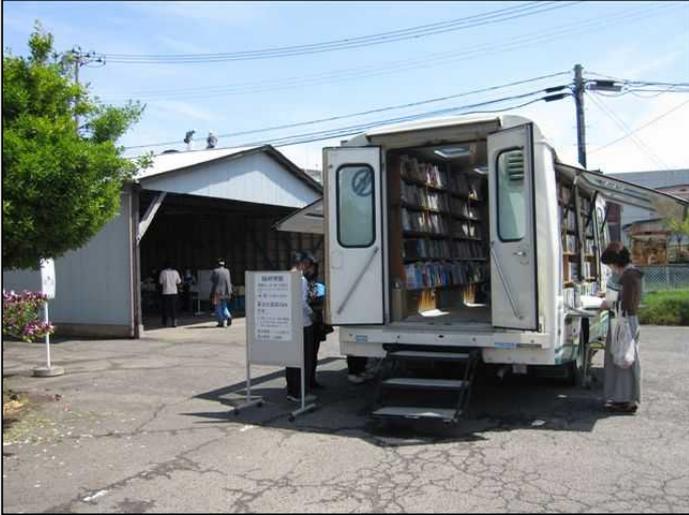
最高気温25度、快晴。天気も味方してくれたようです。

図書館本体の建物は危険なため、移動図書館車「なかよし号」と離れの書庫を使い、利用は火・木・土の午前10時から午後2時までという制限はありますが、多くの市民が訪れ、貸出しは371冊(106人)、返却は574冊(181人)があり、大賑わいの一日となりました。決して十分な環境ではありませんが、被害の状況を考えると、よくここまで準備できたと思っております。まさに新たな一歩、大きな一歩です。



絵本を前に親子の足取りも嬉しそう

「移動図書館車」と「離れの書庫」、そして「車庫」も活用！



「思い起こせば・・・」

臨時開館で活用することになった「離れの書庫」。一ヶ月前は、本の片付けも、今後の活用策も模索中でした。今は貸出用の本が、きれいに並んでいます。



離れの書庫（臨時開館の貸出書庫として活用）



一ヶ月前は、足の踏み場もなかった状態



以前に入っていた本は、基本的には一度、外に出して、貸出用に人気のある本などを新たに入れ替えた

「広がる図書館応援団！」 震災から生まれたボランティアの輪

臨時開館初日には、地元のボランティア「おはなしキラキラの会」が、貸出し業務の外、清掃なども積極的に協力してくれたそうです。

ボランティアの方々からは、「震災により図書館が休館になったことで、ここが自分達の活動拠点だったんだ、という思いを改めて感じた。そして、これからも積極的に図書館に関わっていきたい」というような声や、また、一般利用者からも「名取のために、図書館のために何かをしたい！」などの声をいただいているそうです。



貸出し業務などを手伝うボランティアの方々

「臨時開館後 はじめての週末 ～5/14の名取市図書館～」

5月10日(火)に臨時開館がスタートした名取市図書館から、週末の様子が届きました。

前号でもお知らせしたように、火・木・土の限定開館なので、平日にお仕事などを抱える名取市民にとっては、大切な、そして貴重な1日になったようです。

【 待っていた土曜日 はじける笑顔 】

北海道は雨でしたが、名取市は、臨時開館初日と同様、この日も快晴でした。この日は初めての週末ということもあり、約200名が来館、特にお子さん連れでのご家族での利用が多かったようです。

現地の職員からは、「今日は、子どもたちの笑顔が見られたのが印象的でした。この子たちのためにも頑張っていかなければという想いを感じました。」というコメントが届きました。名取が復興に向け、確実に進んでいることを感じました。



賑わうリサイクルコーナー

貸出を行う車庫内の一角をリサイクルコーナーとして利用したり、ソファを置いた休憩スペースを設けたりと報告をいただく度、その変化に驚いています。

石狩市民図書館に届いたメールの中で「臨時ながらも、利用者のためにより良い環境を作り、少しずつ手を加え、その変化を自分でも楽しんでいます。」という文章からも名取市図書館職員のパワーが伝わってきました。

がんばっています、なとり！！

貸出に列ができています



な、な、なんと、
石狩市民図書館コーナーが！ 感謝です



離れの書庫入口には
「狭いのでご注意ください」との配慮も